

令和 7 年国勢調査 人口等基本集計結果の概要（大阪市）

令和 7 年 10 月 1 日現在で実施した、令和 7 年国勢調査の人口等基本集計結果がこのたび総務省統計局から公表されましたので、大阪市分の概要をお知らせします。

【目次】

1 人口の状況

- （1）大阪市の人口とその推移・・・ 3 ページ
- （2）行政区別人口とその増減・・・ 4～5 ページ
- （3）年齢別人口・・・・・・・・・・ 6 ページ
- （4）外国人人口・・・・・・・・・・ 7 ページ

2 世帯の状況

- （1）大阪市の世帯数とその推移・・・ 8 ページ
- （2）行政区別世帯数とその増減・・・ 9～10 ページ
- （3）世帯の家族類型別一般世帯数とその増減・・・ 11～12 ページ

令和 8 年 9 月
大阪市計画調整局

人口等基本集計とは

人口等基本集計は、人口、世帯、住居に関する基本的事項及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計したものです。

令和 7 年国勢調査の概要等については総務省統計局のホームページをご覧ください。

URL : <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2025/index.htm>

また、集計結果の詳細は、政府統計のポータルサイト「政府統計の総合窓口『e-stat』」の「令和 7 年国勢調査」ページの統計表をご覧ください。

URL : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200521>

利用上の注意

○本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。なお、増減率や割合・構成比などの各種計算値を算出するにあたっては、単位未満を含んだ数値を用いています。

○本概要に掲載している事項のうち以下に該当する事項の平成 27 年数値、令和 2 年数値及び令和 7 年数値については、結果利用者の利便性向上を図るため、総務省が主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」を補完し、算出した不詳補完値を用いています。

- ・年齢別人口
- ・外国人人口
- ・世帯の家族類型別一般世帯数（令和 2 年及び令和 7 年数値のみ）

また、平成 27 年の不詳補完値はあん分等より算出された数値であり、令和 2 年及び令和 7 年の不詳補完値は CANCEIS^{※1}により算出された数値です。

なお、CANCEIS による不詳補完値については、不詳が一部残る場合があります。

※1）CANCEIS（CANadian Census Edit and Imputation System）は、カナダ統計局が開発したソフトウェアであり、カナダ、イギリス、ドイツ等の人口センサスで使用されている。

○不詳補完値を用いた増減数及び増減率については、同一の補完方法による不詳補完値又は原数値同士の比較により算出しています。なお、平成 27 年、令和 2 年及び令和 7 年の国勢調査において算出した不詳補完値は、下表のとおりです。

	令和 7 年 国勢調査	令和 2 年 国勢調査	平成 27 年 国勢調査
CANCEIS による不詳補完値	○	○	
あん分等による不詳補完値		○	○

○不詳補完値の詳細については、総務省統計局「令和 7 年国勢調査 調査の結果」ページの「人口等基本集計 結果の概要 54 ページ」を参照してください。

URL : <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2025/kekka.html>

○割合・構成比は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出し、又は不詳補完値により算出しています。

用語の解説

人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいいます。

性比

女性 100 人対する男性の数をいいます。

年齢

「年齢」は、令和 7 年 9 月 30 日現在による満年齢としています。なお、令和 7 年 10 月 1 日午前零時に生まれた人は、0 歳としています。

世帯の種類

国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の 2 種類に区分しています。

「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいいます。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会福祉施設の入所者、自営隊の営舎内または艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいいます。

1 人口の状況

(1) 大阪市の人口とその推移

大阪市の人口は2,805,371人

令和2年に引き続き人口は増加しており、令和2年から52,959人増(1.9%増)

総人口を男女別にみると、男性が1,346,123人、女性が1,459,248人

図1 戦後の国勢調査人口及び人口増減率の推移

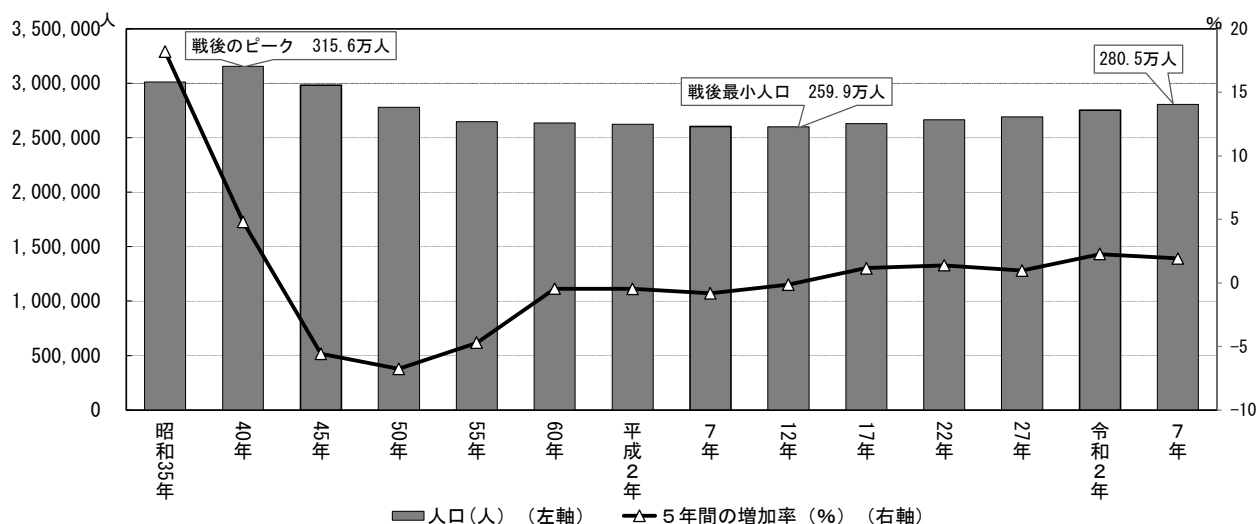


表1 男女別人口の推移

年次	人口 (人)	5年間の増減		男 (人)	5年間の増減		女 (人)	5年間の増減		性比 (女=100)	5年間の 性比の 変化
		増減数 (人)	増減率 (%)		増減数 (人)	増減率 (%)		増減数 (人)	増減率 (%)		
昭和35年	3,011,563	464,247	18.2	1,542,833	261,417	20.4	1,468,730	261,417	20.4	105.0	3.8
40年	3,156,222	144,659	4.8	1,598,376	55,543	3.6	1,557,846	89,116	6.1	102.6	△ 2.4
45年	2,980,487	△ 175,735	△ 5.6	1,490,779	△ 107,597	△ 6.7	1,489,708	△ 68,138	△ 4.4	100.1	△ 2.5
50年	2,778,987	△ 201,500	△ 6.8	1,378,287	△ 112,492	△ 7.5	1,400,700	△ 89,008	△ 6.0	98.4	△ 1.7
55年	2,648,180	△ 130,807	△ 4.7	1,304,599	△ 73,688	△ 5.3	1,343,581	△ 57,119	△ 4.1	97.1	△ 1.3
60年	2,636,249	△ 11,931	△ 0.5	1,295,771	△ 8,828	△ 0.7	1,340,478	△ 3,103	△ 0.2	96.7	△ 0.4
平成2年	2,623,801	△ 12,448	△ 0.5	1,292,747	△ 3,024	△ 0.2	1,331,054	△ 9,424	△ 0.7	97.1	0.5
7年	2,602,421	△ 21,380	△ 0.8	1,278,212	△ 14,535	△ 1.1	1,324,209	△ 6,845	△ 0.5	96.5	△ 0.6
12年	2,598,774	△ 3,647	△ 0.1	1,273,121	△ 5,091	△ 0.4	1,325,653	1,444	0.1	96.0	△ 0.5
17年	2,628,811	30,037	1.2	1,280,325	7,204	0.6	1,348,486	22,833	1.7	94.9	△ 1.1
22年	2,665,314	36,503	1.4	1,293,798	13,473	1.1	1,371,516	23,030	1.7	94.3	△ 0.6
27年	2,691,185	25,871	1.0	1,302,562	8,764	0.7	1,388,623	17,107	1.2	93.8	△ 0.5
令和2年	2,752,412	61,227	2.3	1,326,875	24,313	1.9	1,425,537	36,914	2.7	93.1	△ 0.7
7年	2,805,371	52,959	1.9	1,346,123	19,248	1.5	1,459,248	33,711	2.4	92.2	△ 0.8

(2) 行政区別人口とその増減

行政区別で最も人口が多いのは淀川区（189,980人）（令和2年調査では平野区）

図2 行政区別人口

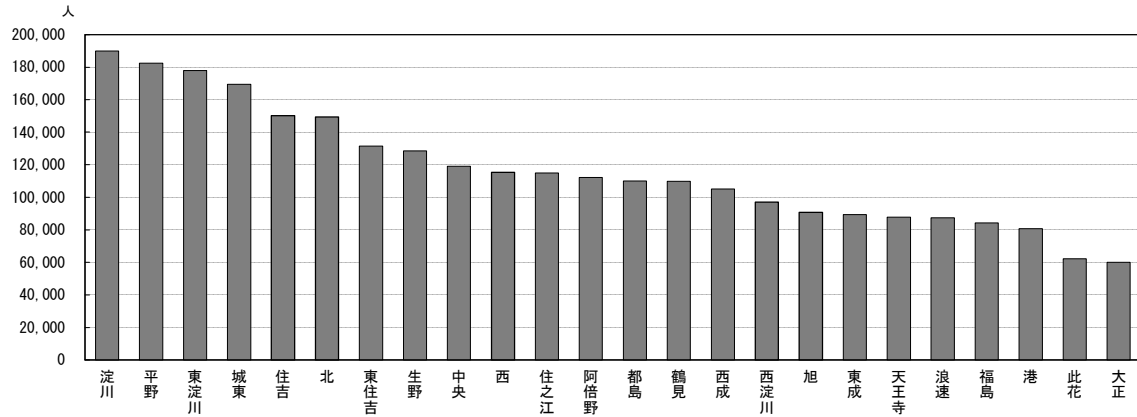
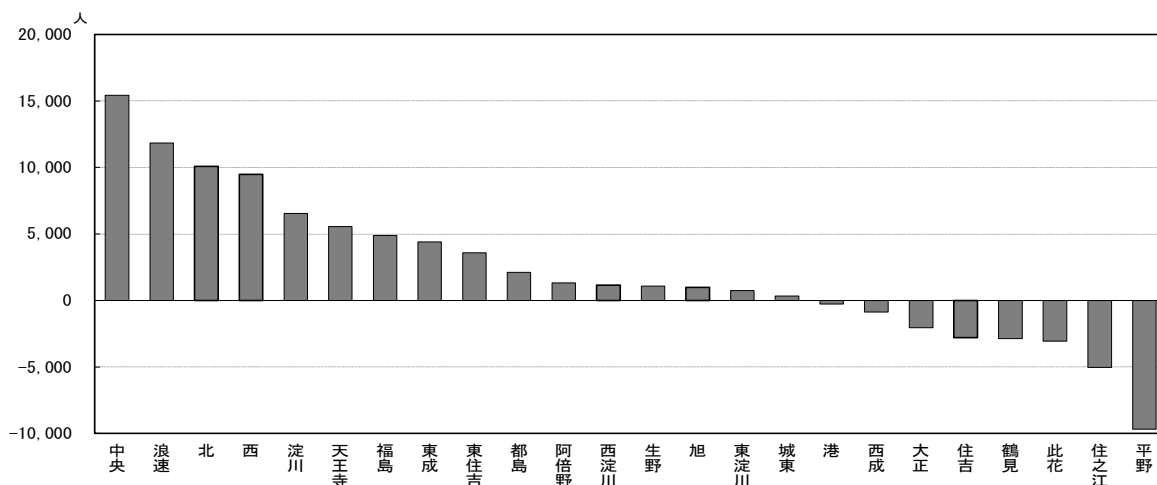


表2 行政区別人口

行政区	令和7年			令和2年			平成27年
	人口 (人)	令和2年調査との比較		人口 (人)	平成27年調査との比較		人口 (人)
		増減数 (人)	増減率 (%)		増減数 (人)	増減率 (%)	
北	149,465	10,089	7.2	139,376	15,709	12.7	123,667
都島	110,025	2,121	2.0	107,904	3,177	3.0	104,727
福島	84,205	4,877	6.1	79,328	6,844	9.4	72,484
此花	62,184	△ 3,067	△ 4.7	65,251	△ 1,405	△ 2.1	66,656
中央	119,162	15,436	14.9	103,726	10,657	11.5	93,069
西	115,345	9,483	9.0	105,862	13,432	14.5	92,430
港	80,676	△ 272	△ 0.3	80,948	△ 1,087	△ 1.3	82,035
大正	60,041	△ 2,042	△ 3.3	62,083	△ 3,058	△ 4.7	65,141
天王寺	87,701	5,553	6.8	82,148	6,419	8.5	75,729
浪速	87,346	11,842	15.7	75,504	5,738	8.2	69,766
西淀川	97,021	1,157	1.2	95,864	374	0.4	95,490
淀川	189,980	6,536	3.6	183,444	7,243	4.1	176,201
東淀川	177,869	749	0.4	177,120	1,590	0.9	175,530
東成	89,322	4,416	5.2	84,906	4,343	5.4	80,563
生野	128,396	1,087	0.9	127,309	△ 2,858	△ 2.2	130,167
旭	90,667	997	1.1	89,670	△ 1,938	△ 2.1	91,608
城東	169,370	327	0.2	169,043	4,346	2.6	164,697
鶴見	109,817	△ 2,874	△ 2.6	112,691	1,134	1.0	111,557
阿倍野	112,313	1,318	1.2	110,995	3,369	3.1	107,626
住之江	115,052	△ 5,020	△ 4.2	120,072	△ 2,916	△ 2.4	122,988
住吉	150,253	△ 2,803	△ 1.8	153,056	△ 1,183	△ 0.8	154,239
東住吉	131,439	3,590	2.8	127,849	1,550	1.2	126,299
平野	182,480	△ 9,672	△ 5.0	192,152	△ 4,481	△ 2.3	196,633
西成	105,242	△ 869	△ 0.8	106,111	△ 5,772	△ 5.2	111,883

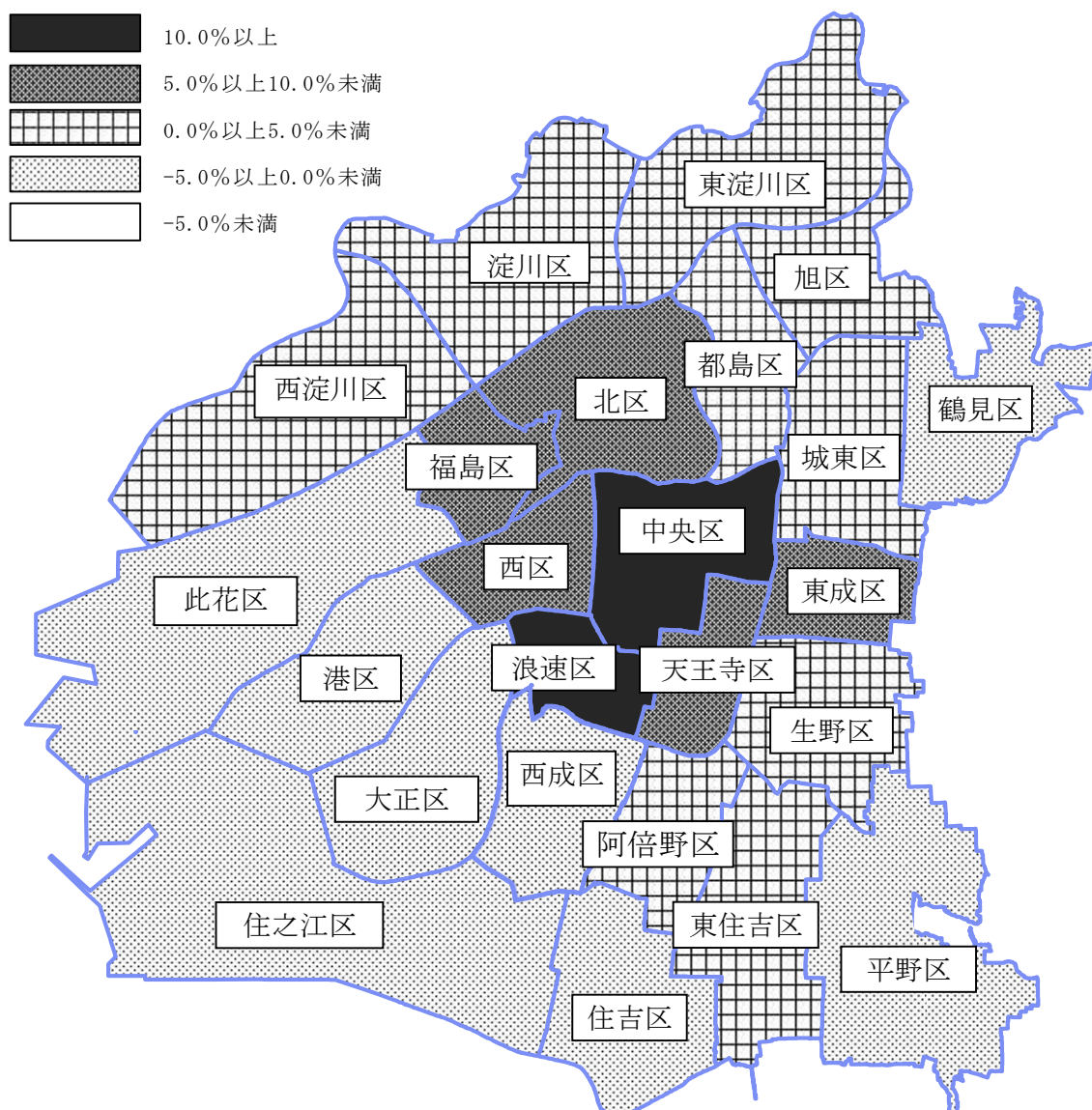
令和2年と比較し、中央区、浪速区、北区など16区で人口増加

図3 行政区別人口増減数（令和2年～令和7年）



人口増加率でみると、浪速区、中央区が他区と比較して特に高水準

図4 行政区別人口増減率（令和2年～令和7年）



（３）年齢別人口

15歳未満人口（年少人口）は267,318人で令和2年から23,661人減（8.1%減）、15～64歳（生産年齢人口）は1,846,214人で令和2年から90,460人増（5.2%増）、65歳以上人口（老年人口）は691,829人で13,850人減（2.0%減）

表3 年齢（3区分）別人口及び構成比の推移

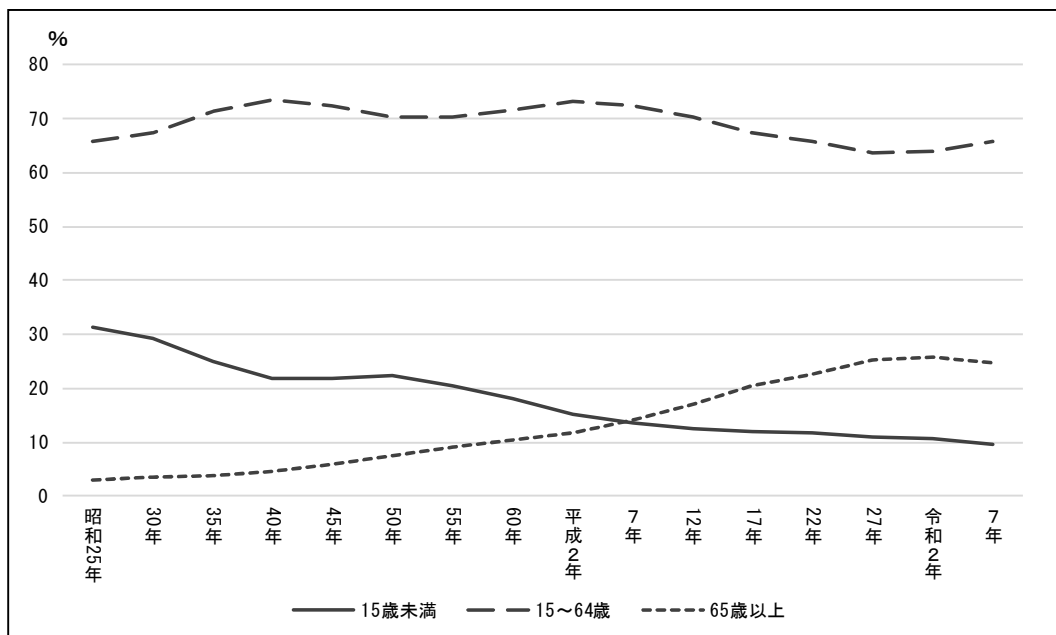
年次	人口（人） 注1)				年齢別構成比（％） 注2)			人口増減数（人） 注3)			人口増減率（％） 注3)		
	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
昭和25年	1,956,136	609,653	1,285,845	60,494	31.2	65.7	3.1	-	-	-	-	-	-
30年	2,547,316	743,448	1,713,544	90,289	29.2	67.3	3.5	133,795	427,699	29,795	21.9	33.3	49.3
35年	3,011,563	749,756	2,147,051	114,756	24.9	71.3	3.8	6,308	433,507	24,467	0.8	25.3	27.1
40年	3,156,222	691,225	2,320,434	144,563	21.9	73.5	4.6	△ 58,531	173,383	29,807	△ 7.8	8.1	26.0
45年	2,980,487	646,021	2,159,116	175,350	21.7	72.4	5.9	△ 45,204	△ 161,318	30,787	△ 6.5	△ 7.0	21.3
50年	2,778,987	615,424	1,952,611	209,583	22.2	70.3	7.5	△ 30,597	△ 206,505	34,233	△ 4.7	△ 9.6	19.5
55年	2,648,180	543,395	1,858,443	243,581	20.5	70.3	9.2	△ 72,029	△ 94,168	33,998	△ 11.7	△ 4.8	16.2
60年	2,636,249	476,809	1,885,539	271,339	18.1	71.6	10.3	△ 66,586	27,096	27,758	△ 12.3	1.5	11.4
平成2年	2,623,801	395,242	1,902,348	306,199	15.2	73.1	11.8	△ 81,567	16,809	34,860	△ 17.1	0.9	12.8
7年	2,602,421	351,859	1,878,744	365,883	13.6	72.4	14.1	△ 43,383	△ 23,604	59,684	△ 11.0	△ 1.2	19.5
12年	2,598,774	327,851	1,822,803	444,740	12.6	70.2	17.1	△ 24,008	△ 55,941	78,857	△ 6.8	△ 3.0	21.6
17年	2,628,811	315,143	1,749,851	529,692	12.1	67.4	20.4	△ 12,708	△ 72,952	84,952	△ 3.9	△ 4.0	19.1
22年	2,665,314	308,093	1,734,432	598,835	11.7	65.7	22.7	△ 7,050	△ 15,419	69,143	△ 2.2	△ 0.9	13.1
27年	2,691,185	296,056	1,713,111	682,018	11.0	63.7	25.3	△ 12,795	△ 51,634	69,863	△ 4.2	△ 3.0	11.7
令和2年	2,752,412	290,979	1,755,754	705,679	10.6	63.8	25.6	△ 5,017	40,773	25,471	△ 1.7	2.4	3.7
7年	2,805,371	267,318	1,846,214	691,829	9.5	65.8	24.7	△ 23,661	90,460	△ 13,850	△ 8.1	5.2	△ 2.0

注1) 平成27年以降の人口は不詳補完値により、平成22年以前の人口は原数値による。

注2) 平成27年以降の年齢別構成比は不詳補完値により、平成22年以前の年齢別構成比は分母から「不詳」を除いて算出。

注3) 人口増減数及び人口増減率は同一の補完方法による不詳補完値又は原数値同士の比較により算出。

図5：年齢（3区分）別構成比の推移



注1) 平成27年以降の年齢別構成比は不詳補完値により、平成22年以前の年齢別構成比は分母から「不詳」を除いて算出。

(4) 外国人人口

外国人人口は、171,046 人で、令和2年から 32,988 人増 (23.9%増)

表4 外国人人口と総人口に占める構成比の推移

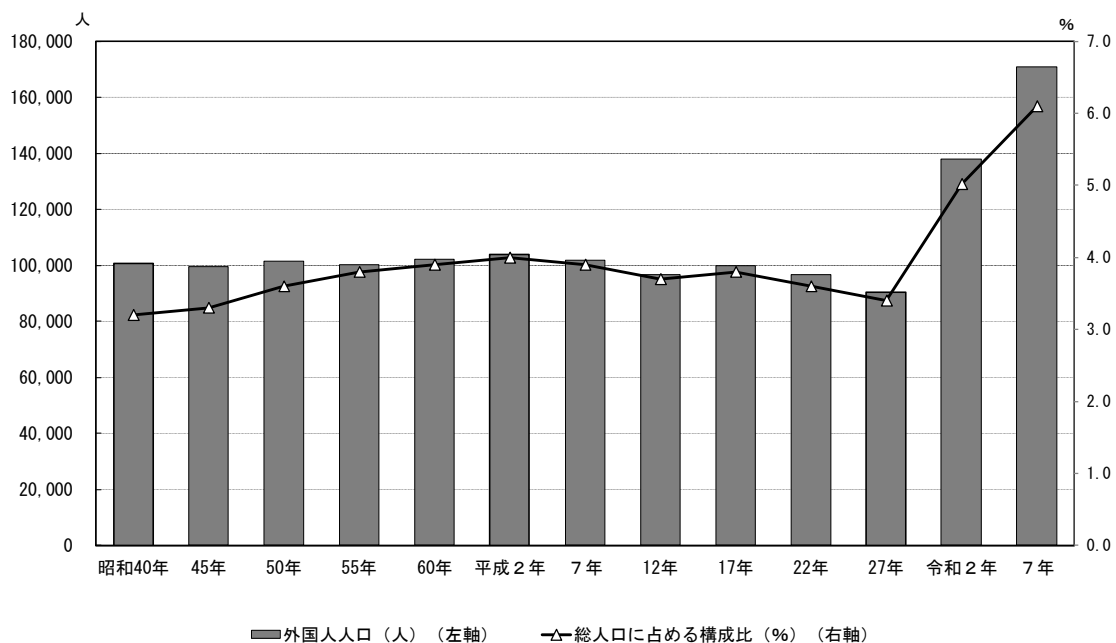
年次	人口 (人)	うち外国人人口 注1)、注2)			
		人口 (人)	総人口に 占める 構成比 (%)	5年間の 増減数 (人) 注3)	5年間の 増減率 (%) 注3)
昭和40年	3,156,222	100,572	3.2	—	—
45年	2,980,487	99,462	3.3	△ 1,110	△ 1.1
50年	2,778,987	101,431	3.6	1,969	2.0
55年	2,648,180	100,088	3.8	△ 1,343	△ 1.3
60年	2,636,249	102,221	3.9	2,133	2.1
平成2年	2,623,801	103,774	4.0	1,553	1.5
7年	2,602,421	101,884	3.9	△ 1,890	△ 1.8
12年	2,598,774	96,691	3.7	△ 5,193	△ 5.1
17年	2,628,811	99,783	3.8	3,092	3.2
22年	2,665,314	96,675	3.6	△ 3,108	△ 3.1
27年	2,691,185	90,406	3.4	△ 17,107	△ 17.7
令和2年	2,752,412	138,058	5.0	47,658	52.7
7年	2,805,371	171,046	6.1	32,988	23.9

注1) 平成27年以降のうち外国人人口は不詳補完値により、平成22年以前の
うち外国人人口は原数値による。

2) うち外国人人口は無国籍及び国籍「不詳」を含む。

3) 5年間の増減数及び5年間の増減率は同一の補完方法による不詳補完値
又は原数値同士の比較により算出。

図6 外国人人口と総人口に占める構成比の推移



注1) 平成27年以降のうち外国人人口は不詳補完値により、平成22年以前のうち外国人人口は原数値による。

2 世帯の状況

(1) 大阪市の世帯数とその推移

総世帯数は、1,591,120 世帯

令和2年に引き続き世帯は増加しており、令和2年から121,402世帯増（8.3%増）

1世帯当たり人員は1.76人で 令和2年に引き続き減少（0.11人減）

図7 総世帯数及び1世帯当たり人員の推移

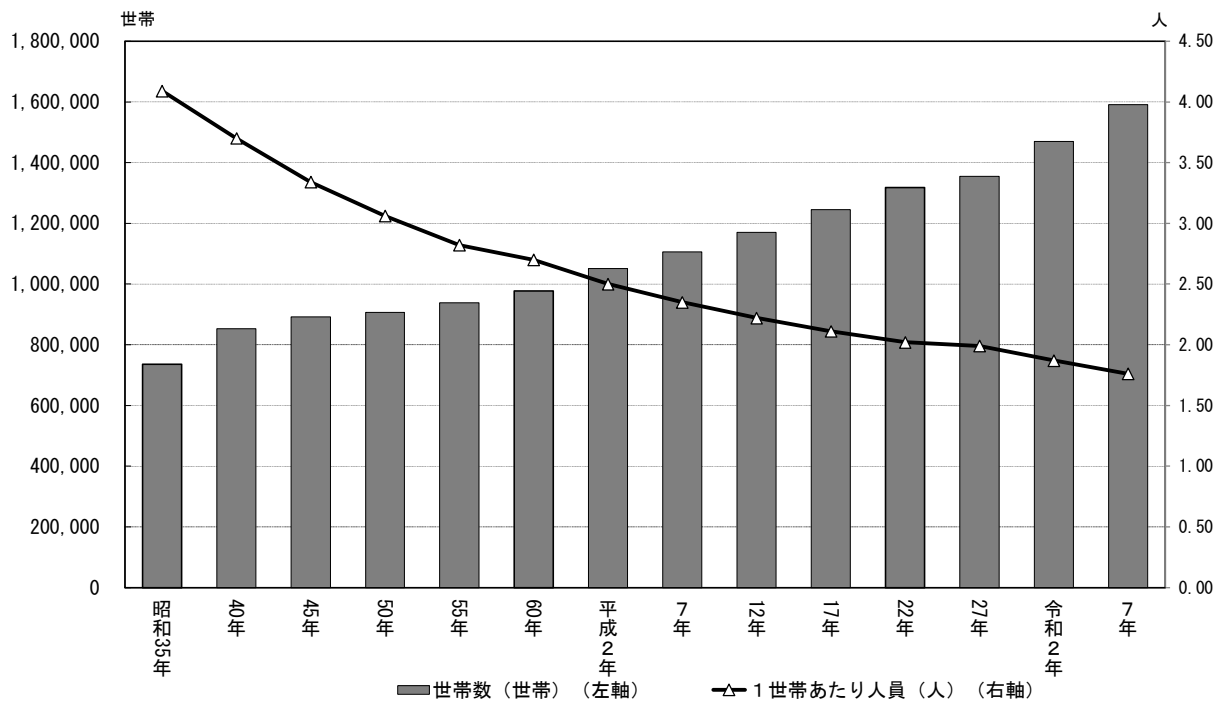


表5 総世帯及び1世帯当たり人員の推移

年次	世帯数 (世帯)	5年間の増減		人口 (人)	1世帯 当たり 人員 (人)
		増減数 (世帯)	増減率 (%)		
昭和35年	735,525	155,519	26.8	3,011,563	4.09
40年	852,825	117,300	15.9	3,156,222	3.70
45年	891,966	39,141	4.6	2,980,487	3.34
50年	906,749	14,783	1.7	2,778,987	3.06
55年	938,541	31,792	3.5	2,648,180	2.82
60年	976,978	38,437	4.1	2,636,249	2.70
平成2年	1,050,560	73,582	7.5	2,623,801	2.50
7年	1,105,351	54,791	5.2	2,602,421	2.35
12年	1,169,621	64,270	5.8	2,598,774	2.22
17年	1,245,012	75,391	6.4	2,628,811	2.11
22年	1,317,990	72,978	5.9	2,665,314	2.02
27年	1,354,793	36,803	2.8	2,691,185	1.99
令和2年	1,469,718	114,925	8.5	2,752,412	1.87
7年	1,591,120	121,402	8.3	2,805,371	1.76

(2) 行政区別世帯数とその増減

行政区別で最も世帯数が多いのは淀川区（114,874世帯）

令和2年と比較し、世帯は24区すべての行政区で増加、1世帯当たり人員はすべての行政区で減少

図8 行政区別世帯数

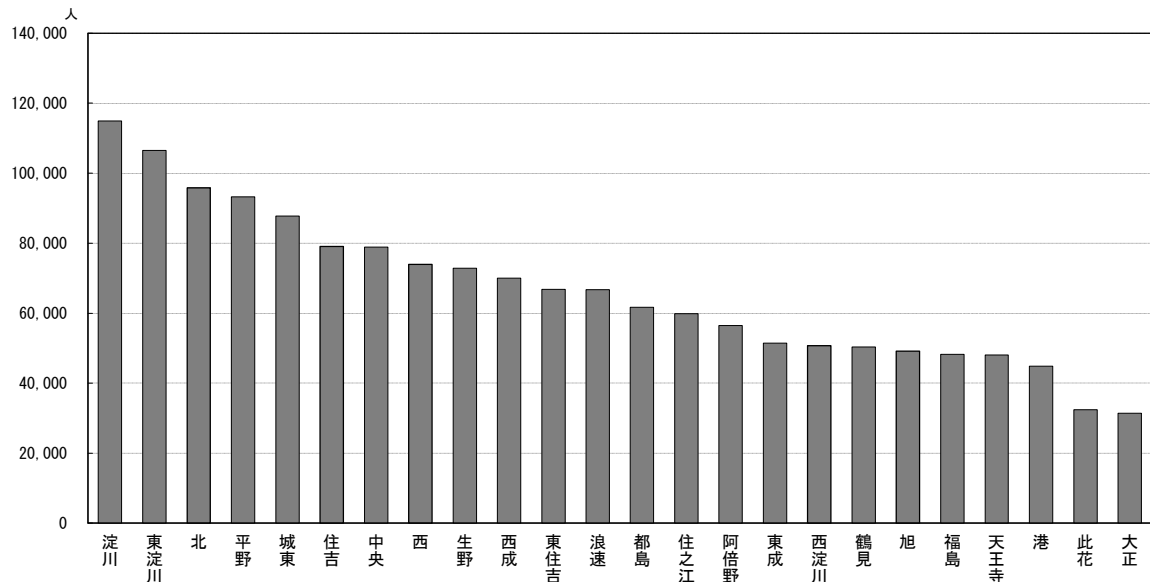
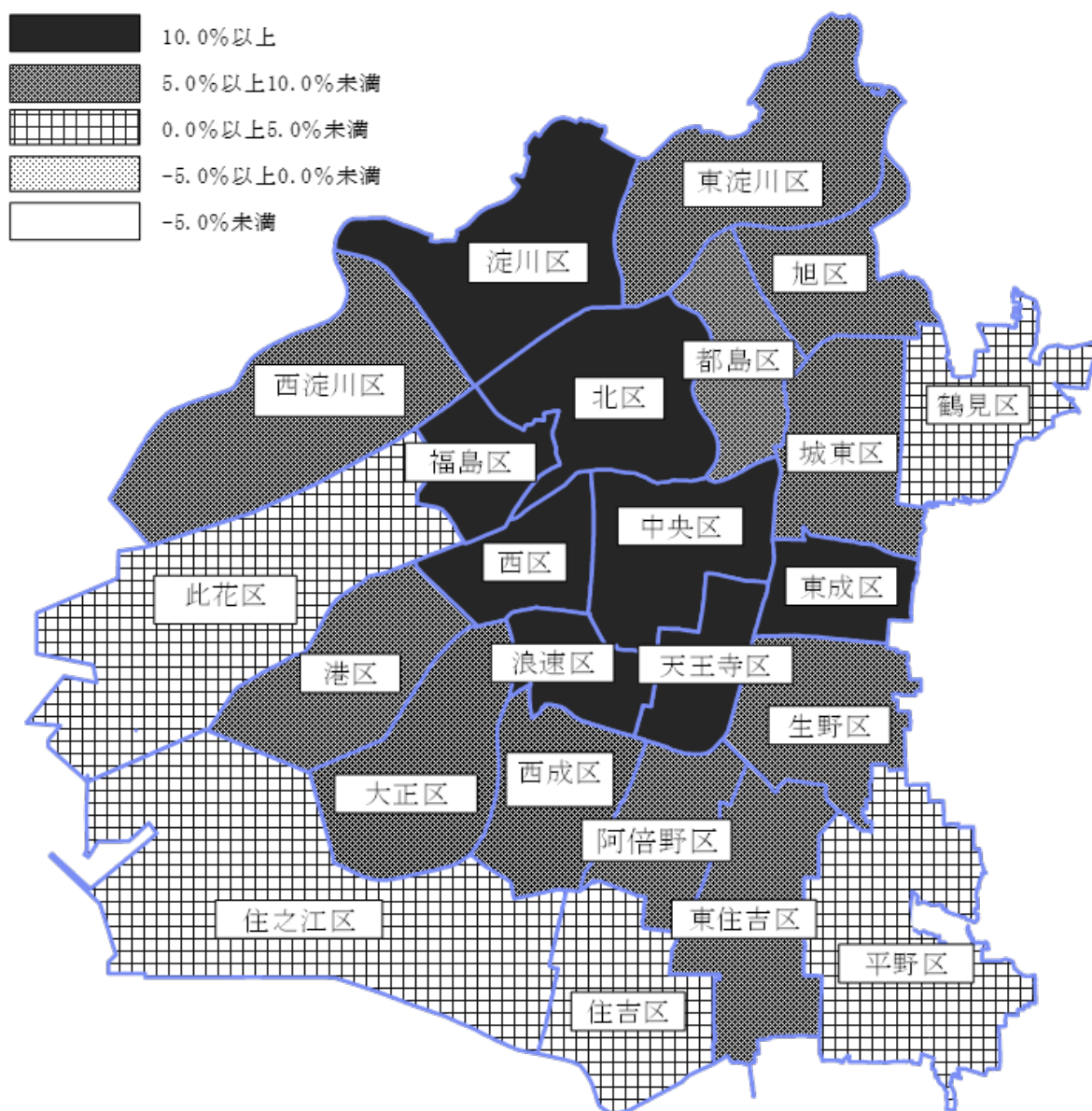


表6 行政区別世帯数と1世帯当たり人員の推移

	世帯数 (世帯)				1世帯当たり人員 (人)			
	平成27年	令和2年	令和7年	推移	平成27年	令和2年	令和7年	推移
北	74,182	85,785	95,839		1.67	1.62	1.56	
都島	51,549	56,944	61,688		2.03	1.89	1.78	
福島	37,510	42,631	48,244		1.93	1.86	1.75	
此花	30,712	32,318	32,387		2.17	2.02	1.92	
中央	59,084	67,139	78,889		1.58	1.54	1.51	
西	52,138	63,874	73,921		1.77	1.66	1.56	
港	40,348	42,612	44,826		2.03	1.90	1.80	
大正	29,209	29,859	31,378		2.23	2.08	1.91	
天王寺	38,058	42,163	48,057		1.99	1.95	1.82	
浪速	47,541	53,297	66,757		1.47	1.42	1.31	
西淀川	42,924	46,266	50,727		2.22	2.07	1.91	
淀川	94,460	104,193	114,874		1.87	1.76	1.65	
東淀川	92,536	99,699	106,458		1.90	1.78	1.67	
東成	39,683	45,487	51,389		2.03	1.87	1.74	
生野	63,622	67,616	72,887		2.05	1.88	1.76	
旭	43,700	45,303	49,122		2.10	1.98	1.85	
城東	76,455	82,712	87,717		2.15	2.04	1.93	
鶴見	46,358	48,884	50,296		2.41	2.31	2.18	
阿倍野	50,104	53,649	56,539		2.15	2.07	1.99	
住之江	56,920	59,913	59,923		2.16	2.00	1.92	
住吉	71,718	78,098	79,048		2.15	1.96	1.90	
東住吉	57,797	62,025	66,864		2.19	2.06	1.97	
平野	88,960	92,872	93,265		2.21	2.07	1.96	
西成	69,225	66,379	70,025		1.62	1.60	1.50	

世帯数増加率でみると、浪速区、中央区、西区等の主に中心部の増加が顕著

図9 行政区別世帯数増減率（令和2年～令和7年）



(3) 世帯の家族類型別一般世帯数とその増減

単独世帯及び65歳以上単独世帯はさらに増加

表7 世帯の家族類型別一般世帯数及び一般世帯総数に占める構成比の推移

世帯の家族類型	一般世帯数(世帯) 注1)				構成比(%) 注2)			
	令和7年	令和2年	平成27年	平成22年	令和7年	令和2年	平成27年	平成22年
総数 注3)	1,587,701	1,464,615	1,352,413	1,311,523	100.0	100.0	100.0	100.0
A 親族のみの世帯	638,119	661,262	662,775	672,906	40.2	45.1	49.1	51.3
ア 核家族世帯	602,508	619,041	608,983	611,570	37.9	42.3	45.1	46.6
a 夫婦のみの世帯	226,463	222,326	217,696	211,935	14.3	15.2	16.1	16.2
b 夫婦と子供から成る世帯	258,307	272,042	269,051	280,578	16.3	18.6	19.9	21.4
c ひとり親と子供から成る世帯	117,738	124,673	122,236	119,057	7.4	8.5	9.1	9.1
イ 核家族以外の世帯	35,611	42,221	53,792	61,336	2.2	2.9	4.0	4.7
d 夫婦と親から成る世帯	4,124	6,181	6,839	8,159	0.3	0.4	0.5	0.6
e 夫婦、子供と親から成る世帯	6,386	10,804	13,550	18,294	0.4	0.7	1.0	1.4
f その他の世帯 4)	25,101	28,718	33,403	34,883	1.6	2.0	2.5	2.7
B 非親族を含む世帯	18,182	18,568	30,332	15,576	1.1	1.3	2.2	1.2
C 単独世帯	931,399	784,785	657,205	622,010	58.7	53.6	48.7	47.4
ア 65歳以上単独世帯	257,512	238,400	201,070	176,922	16.2	16.3	14.9	13.5

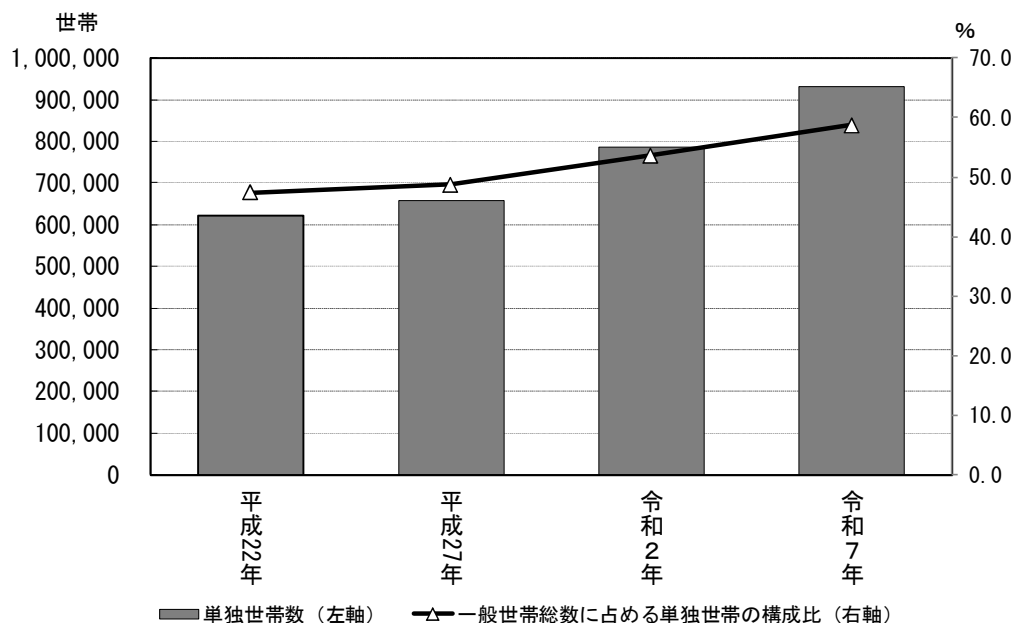
注1) 令和2年及び令和7年の家族類型別の一般世帯数は不詳補完値による。

2) 令和2年及び令和7年の構成比は不詳補完値により、平成27年以前の構成比は分母から不詳を除いて算出。

3) 総数は世帯の家族類型「不詳」を含むため、内訳の合計とは一致しない。

4) その他の世帯：①夫婦と他の親族（親、子供を含まない）から成る世帯、②夫婦、子供と他の親族（親を含まない）から成る世帯、③夫婦、親と他の親族（子供を含まない）から成る世帯、④夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯、⑤兄弟姉妹のみから成る世帯、⑥他に分類されない世帯

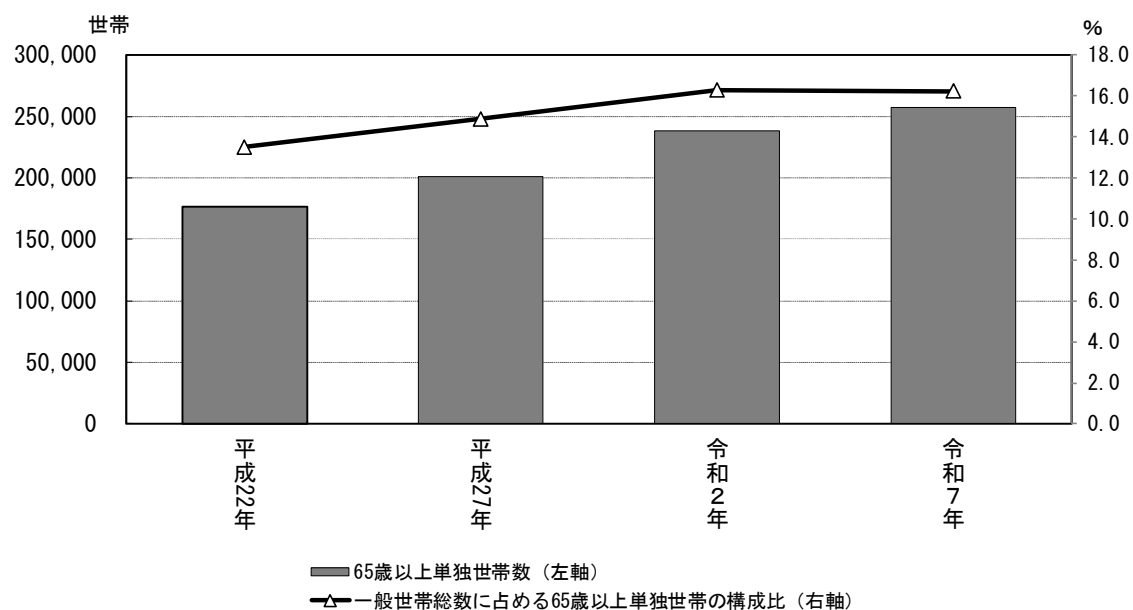
図10 単独世帯と一般世帯総数に占める単独世帯の構成比の推移



1) 令和2年及び令和7年の単独世帯数は不詳補完値による。

2) 令和2年及び令和7年の一般世帯総数に占める単独世帯の構成比は不詳補完値により、平成27年以前の構成比は分母から不詳を除いて算出。

図 11 65 歳以上単独世帯数と一般世帯総数に占める 65 歳以上単独世帯の構成比の推移



1) 令和2年及び令和7年の65歳以上単独世帯数は不詳補完値による。

2) 令和2年及び令和7年の一般世帯総数に占める65歳以上単独世帯の構成比は不詳補完値により、平成27年以前の構成比は分母から不詳を除いて算出。